

平成29年度 四万十市予算が決定しました! 総額332億円

■概要

平成29年度当初予算は、5月が市長改選期となるので、「骨格予算」として編成しましたが、緊急性の高い事業や年度当初から取り組みが必要な事業については、市民生活に影響が出ないよう、当初予算で計上しております。また、総合計画に掲げる市の将来像の実現に向け、事業を厳選し、予算編成を行いました。

一般会計においては、前年度比4.7%の減額、特別会計では1.6%の減額、企業会計では3.1%の減額となり、各会計間の重複額を除いた合計は3.5%の減額となりました。ただし、国の補正予算を積極的に活用し、平成28年度12月補正予算、3月補正予算に合計で約7億円の事業を前倒しで計上しており、予算の確保を図っております。

予算規模は、一般会計で204億800万円、特別会計(14会計)で121億1746万円、企業会計(2会計)で29億7624万円、各会計間の重複を控除した総額は332億4887万円と、7万円となります。

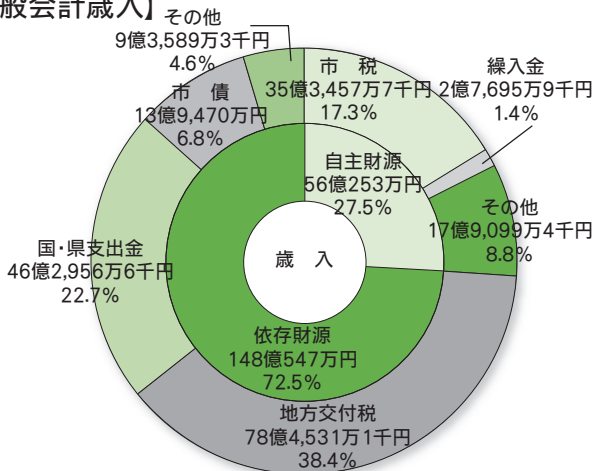
区分	平成29年度 予算額	伸率 (%)
一般会計	204億 800万円	△ 4.7
特別会計(14会計)	121億1,746万円	△ 1.6
国民健康保険事業勘定	49億4,559万円	△ 1.8
国民健康保険診療施設勘定	2億6,869万円	△ 11.4
奥屋内へき地出張診療所	526万円	△ 5.2
後期高齢者医療	5億 317万円	0.4
下水道事業	8億4,627万円	△ 8.2
と畜場	2億1,271万円	△ 8.5
幡多公設地方卸売市場事業	209万円	60.1
住宅新築資金等貸付事業	56万円	0.0
鉄道経営助成基金	6億 63万円	0.0
農業集落排水事業	6,418万円	△ 0.3
幡多中央介護認定審査会	690万円	1.9
介護保険事業勘定	38億9,184万円	4.8
簡易水道事業	7億5,950万円	△ 16.5
園芸作物価格安定事業	1,007万円	△ 33.3
企業会計(2会計)	29億7,624万円	△ 3.1
水道事業	8億2,357万円	4.2
病院事業	21億5,267万円	△ 5.6
合計(各会計間の重複額除く)	332億4,887万円	△ 3.5

■一般会計

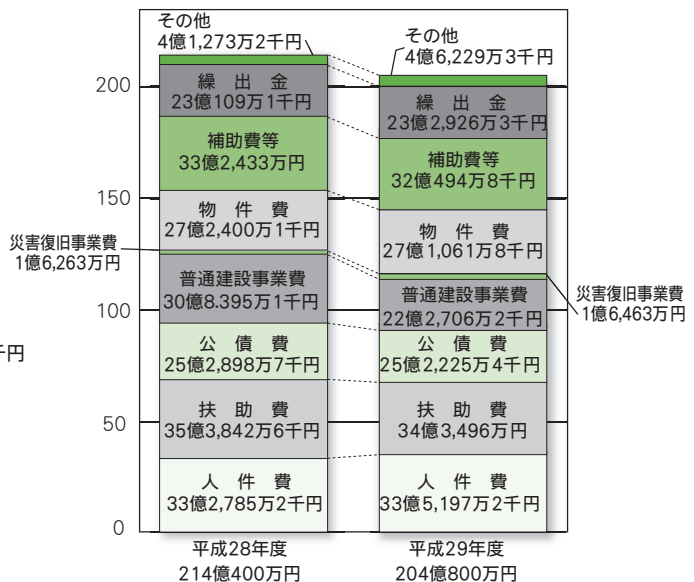
左のグラフは一般会計の歳入歳出予算の状況をまとめたものです。

下のグラフは歳出を性質別に区分したもので、義務的経費である人件費、扶助費、公債費の合計は、前年度比0.9%の減額となっています。人件費は増額となっていますが、生活保護費の伸びが一定落ち着いたことなどにより扶助費が減少しており、公債費は微減となっております。普通建設事業費は中村中学校屋内運動場改築事業の完了や、都市防災推進事業が減少したことなどにより、27.8%の減額となっています。

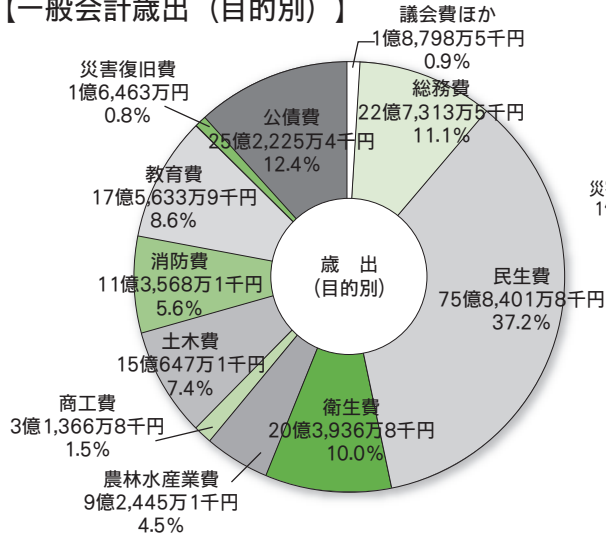
【一般会計歳入】



【一般会計歳出(性質別)】



【一般会計歳出(目的別)】



■主要事業など
総合計画に掲げる次の6つの柱について、主な事業や新規の事業とその予算額を掲載します。
※新は本年度新規の事業

自然と共生した安心で快適なまちづくり

都市防災推進事業【2億7457万9千円】
八束地区防災拠点基地関連事業を実施するとともに、接続する市道の改良を行います。

地震津波対策事業【1375万円】
非常用食料の備蓄、給油所への発電機等の購入補助などを行います。

住宅等耐震対策【1億4004万1千円】
住宅の耐震診断・設計・改修補助を行います。また、県の指定する緊急輸送道路等避難路の沿道建築物に対する耐震化補助を行います。

住宅用太陽光発電システム設置補助

【420万円】

市内住宅への太陽光発電システムの整備に対する補助を行います。

新 相ノ沢川総合内水対策【900万円】
相ノ沢川、楠島川沿川の内水対策として、本年度は自由ヶ丘団地の調整池の点検・診断および相ノ沢川の支川である馬場川の浚渫を行います。

にぎわいと住みやすさのあるまちづくり

公共交通の維持【1億7296万8千円】
土佐くろしお鉄道線に対する経営助成、路線運行バス運営費補助および車両購入補助、グランド交通運行などを実施します。

道路整備【5億9215万円】
市街地・中山間地域の道路整備を引き続き実施します。

地籍調査【1億38万6千円】
津波被害が想定される地域について優先的に事業を進めるとともに、高速道路の延伸に向けて事業が円滑に進むように古津賀地区についても事業を実施します。

地域資源を活かした産業の力みなぎるまちづくり

産業振興推進総合支援【2143万9千円】
商品の生産段階から販売段階までの取組や観光産業の振興に資する取組を総合的に支援します。また、国の地方創生推進交付金を活用し、ぶしゅかん普及推進、持続可能な農業の仕組みづくりなどに取り組みます。

シティプロモーション推進

【563万1千円】

本市の本質的な魅力、独自性を見極め、各産業分野をつなぎ市内外へ発信・販売する事業を行います。

地域商社「西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業
道の駅「よつて西土佐」を拠点として、地産地消、地産外商、地域全体を取り込んだ各種事業展開など創造的かつ先駆的な事業を行います。

新 歴史観光資源等強化事業

【8123万5千円】

「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、地域会場である郷土資料館周辺の駐車場、遊歩道の整備および周遊観光の強化、歴史資源の磨き上げ、観光ガイドの育成などを行い、観光振興を図ります。

豊かな心と学びを育むまちづくり

語学指導を行う外国青年招致
【2800万8千円】
平成32年度から予定されている小学校5年生からの英語科の全面実施に備え、外国語指導助手を現在の5名から7名に増員し、英語教育の充実を図ります。

学校支援地域本部【130万1千円】
学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、外部人材の協力を得て、地域と学校が連携して地域ぐるみで子どもを育む取組を行います。本年度は新たに4中学校区を追加し、合計5中学校区で実施します。

放課後等学習支援【241万4千円】
小中学校において、学力定着のため、放課後等に学習支援員を配置し、補充学習を実施します。

新 歴史観光資源等強化事業

【3億6366万3千円】

「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、地域会場である郷土資料館の耐震・大規模改修、内部リニューアル工事などを行います。また、サテライト会場である中央公民館において「しまんと特別企画展」を開催する経費を含んでいます。

東山小学校区児童保育施設整備

【558万2千円】

東山小学校区児童保育施設の本体工事は繰越事業で実施し、2学期からの開設を目指しています。本年度予算では、フェンス、スロープなどの外構工事や、現在使用している施設の解体工事などを実施します。

市民スポーツセンター耐震補強

【1億2311万5千円】

安並運動公園内の同施設の耐震補強工事を行い、安心・安全な施設として機能の充実を図ります。

学校給食【2億9839万6千円】
近年の食材の高騰に対応し、学校給食の充実を図るため、給食材料費(11学校給食費)を1食あたり30円増額します。

健やかで笑顔のある支えあいのまちづくり

健康・福祉地域推進事業【3146万2千円】
住み慣れた地域でいつまでも元気に安心して暮らすことができることを目指し、地域での健康づくりの取組を推進するとともに、高齢者等の見守り活動など、地域の連携強化を図ります。

なお、介護保険制度を活用し、事業の一部を介護保険会計で実施します。

新 子育て世代包括支援センター運営

【229万4千円】

妊娠前から就学前までにわたる切れ目ない子育て支援を行う相談窓口を設置します。
八束保育所移転【1億7857万8千円】
八束保育所の本体工事に着手し、平成30年度からの開所を目指します。

協働で築く地域力のあるまちづくり

移住対策【2508万2千円】

人口減少に歯止めをかけるため、移住相談、移住後のフォロー、定住支援などのきめ細かな対応ができるよう引き続き移住支援員4名を配置します。
また、移住希望者へ提供する住宅の改修費用の補助を行います。

地域おこし協力隊【3089万7千円】

中村地域2名、西土佐地域4名、道の駅「よつて西土佐」に3名を雇用し、中山間地域の活性化を支援します。